



認知症は、誰にでも起こりうる身近な病気です。
特別な人にだけ起こる、特別な出来事ではありません。

認知症における 問題行動の対処法

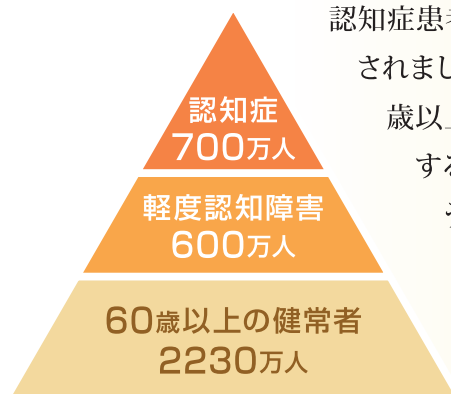
関西医科大学 精神神経科学教室

木下利彦 教授

[プロフィール]

- ・関西医科大学 精神神経科助手
- ・精神保健法指定医(厚生省)指定(精神衛生鑑定医から移行)
- ・医学博士号取得
- ・関西医科大学 精神神経科講師
- ・HZI Research Center(Prof.T.M.Itil,New York,USA) 留学
- ・スイス・チューリッヒ大学神経科(Prof.D.Lehmann) 留学
- ・関西医科大学 精神神経科教授
- ・学校法人関西医科大学理事

妄想、幻覚、暴力、徘徊など
介護のお仕事に役立つ
内容が中心の講演です



※厚生労働省発表の2025年の予測より作成

認知症患者数は、2025年には現状の1.5倍となる推計が厚生労働省より発表されました。これに軽度認知障害患者数を加えると、約1,300万人となり、65歳以上の3人に1人が認知症患者とその予備軍といえます。認知症を発症すると記憶障害を起こしたり、妄想、幻覚、暴力、徘徊…など、生活をするうえで非常に困難な状態になります。

今回の講義では、『認知症における問題行動の対処法』と題し、仕事で役立つ内容などを中心に、関西医科大学 精神神経科学教室 木下利彦教授に特別講演をしていただきます。

日時 2016.12.6(火) 18:30～

場所 介護老人保健施設 **オアシス/2F**

〒547-0031 大阪市平野区平野南1-7-7

